



心よりお見舞い申し上げます

非常に強い勢力で各地に甚大な被害をもたらした台風21号。

今までに経験のない暴風で、この地域においても信じられないような大変な状況が多数起こりました。授業再開前に通学路の点検を職員で行ったのですが、地域の皆様の家屋や道路に設置している看板等、大きな被害が出ている状況を目の当たりにしました。ご被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。停電も長い間で、一部の地域は依然続いているとのこと、日常生活にも大きく支障を来しておられたことと思います。大変な状況でございますが、どうか一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

台風通過時、教員とともに学校でおりましたが、あまりの雨風の強さに身の危険を感じる思いでした。学校の被害としては、窓から教室内への水漏れや外通路屋根の波板の破損、施設内の倒木、幼稚園のフェンスの倒壊等がありました。翌日の5日は、子どもたちが登校し学習できるように、出勤した教職員で分担をして校内の片づけや清掃を行いました。通学路の安全確保ができる体制も確認しました。市教委からの指示もあり、本校では金曜日から授業を再開いたしました。ご家庭の状況によりまだ登校できない子どももおりましたが、子どもたちが元気に登校してくれてきたこと、とてもうれしく、そして安心をいたしました。給食も再開しました。残量も少なく、どの学級の子どものもしっかり食べていました。引き続き、子どもたちの状況に寄り添いながら、しっかり教育活動を進めてまいります。

聞き方「あいうえお」 ～きく態度の育成～

子どもたちには、始業式で人の話をきくときに大切にしてほしいことを、「あいうえお」で示して伝えております。



「あ」…あいてをみて 「い」…いっしょうけんめい
「う」…うなずきながら 「え」…えがおで 「お」…おしまいまで

本校ではめざす子どもの姿に迫るための取組みを進めておりますが、日々の子どもの様子から見えてきた課題を解決していくため、教職員が一丸となって研究に取り組んでおります。研究テーマは「自分の考えを持ち 伝えられる子ども」の育成です。伝える力を育むためには、「聞く・話す」スキルの積み上げが必要です。「よき話し手はよき聞き手から」育まれます。まず、聞くことです。人の話をしっかり聞けることは、学力面にも大きく影響を及ぼします。聞き方「あいうえお」で、日々の授業において、仲間や意見や先生の話をしっかり聞いて、自分の考えや思いを持ち、深めてほしいと思います。ご家庭におかれましても、「聞く・話す」力の育成に向け、ご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。